

■ 『ドローンビジネス調査報告書2023【物流編】』目次

はじめに

第1章 物流分野におけるドローンの役割

- 1.1 ドローン物流とは
 - 1.1.1 ドローン物流の全体像
 - 1.1.2 本書で取り扱う「ドローン」とは
 - 1.1.3 本書で取り扱う「ドローン物流」とは
- 1.2 ドローン物流が期待されている背景
- 1.3 物流用途のドローンとは
 - 1.3.1 マルチコプター（マルチローター型ドローン）
 - 1.3.2 ヘリコプター（シングルローター型ドローン）
 - 1.3.3 固定翼ドローン
 - 1.3.4 VTOL型ドローン
- 1.4 物流分野におけるドローンの役割について
 - 1.4.1 物流分野におけるドローンの有用性
 - 1.4.2 ドローンを活用した物流の価値と効果
 - 1.4.3 物流分野におけるドローンの活用シーン
 - 1.4.4 ドローン物流に必要なものとプロセス
 - 1.4.5 ドローン物流サービスのコスト
- 1.5 ドローン物流分野におけるプレイヤー
 - 1.5.1 ハードウェア（機体）
 - 1.5.2 物流サービス事業者
 - 1.5.3 ドローンポート／ドローンステーション
 - 1.5.4 UTM（ドローン運航管理システム）
 - 1.5.5 関連企業

第2章 ドローン物流の現状と最新トピックス

- 2.1 日本初のレベル4飛行による荷物配送が実現 ドローン物流は次のステージへ
- 2.2 地球1周分のドローン航路実現を目指す政府方針
- 2.3 数々の物流プロジェクトで採用される ACSLの物流専用ドローン
- 2.4 五島列島で実装段階にある固定翼ドローン配送
- 2.5 物流分野で導入が始まったVTOL型ドローン
- 2.6 全国に配送拠点を拡大しながら 毎日運航で実績を重ねるNEXT DELIVERY
- 2.7 50kgの荷物をドローンが運ぶ ニーズの高まりを見せるドローンによる運搬
- 2.8 2022年12月5日から大きく変わった 航空法上のドローンに関する新しいルール
- 2.9 型式認証を視野に入れた機体開発に取り組む 国産ドローンメーカーの物流用途向け機体

- 2.1 レベル4飛行の広がりを見据えた 国や第三者の土地上空を飛行することの法的整理
- 2.11 補助金で支えられているドローン物流の現状
- 2.12 新ルール施行でハードルが高くなったとされる レベル3飛行の許可・承認手続き
- 第3章 ドローン物流の課題と今後の展望
 - 3.1 ドローン物流の課題
 - 3.1.1 事業の課題
 - 3.1.2 制度の課題
 - 3.1.3 技術の課題
 - 3.1.4 社会的課題
 - 3.2 ドローン物流の展望
- 第4章 行政の動向
 - 4.1 全体動向
 - 4.2 ドローン物流に関する国の今後の取り組み
 - 4.3 国土交通省
 - 4.4 厚生労働省
 - 4.5 経済産業省
- 第5章 企業動向
 - 5.1 ドローン物流分野の業界地図
 - 5.2 ハードウェアメーカー
 - 5.2.1 イームズロボティクス
 - 5.2.2 石川エナジーリサーチ
 - 5.2.3 エアロセンス
 - 5.2.4 A C S L
 - 5.2.5 川崎重工業
 - 5.2.6 プロドローン (PRODRONE)
 - 5.3 サービス・ソリューション提供
 - 5.3.1 ANAホールディングス
 - 5.3.2 KDDIスマートドローン
 - 5.3.3 佐川急便
 - 5.3.4 そらいいな
 - 5.3.5 トルビズオン
 - 5.3.6 日本航空
 - 5.3.7 NEXT DELIVERLY
 - 5.3.8 山進
 - 5.3.9 やまびこドローン
 - 5.3.10 楽天